

## 『SEM 因果分析入門』 正誤表

該当箇所	正誤の内容
図 4. 16 図表の標題 (p. 62)	<b>【誤】</b> 手順 7 の因果グラフ温度 <b>【正】</b> 手順 7 の因果グラフ ※「温度」の削除
図 4. 18 図表の標題 (p. 63)	<b>【誤】</b> 手順 9 までの因果グラフ温度 <b>【正】</b> 手順 9 までの因果グラフ ※「温度」の削除
5. 5 節 見出し (p. 79)	<b>【誤】</b> 変数選択と適合度指標 <b>【正】</b> モデル選択と適合度指標
5. 5 節 第 1 パラグラフ 最 後の 1 文 (p. 79)	<b>【誤】</b> ～検定の結果を，パスの接続には LM 検定の結果を使うとよ い。 <b>【正】</b> ～検定の結果を，パスの接続には LM 検定 (Lagrange Multiplier test) の結果を使うとよい。
(5. 11) 式 (p. 82)	<b>【誤】</b> $SRMR = \sqrt{\frac{2}{p(p+1)} \sum_{i \leq j} (r_{ij} - \hat{\rho}_{ij})^2}$ <b>【正】</b> $RMR = \sqrt{\frac{2}{p(p+1)} \sum_{i=1}^p \sum_{j=1}^i (s_{ij} - c_{ij})^2}$ $s_{ij}$ = 分散共分散, $c_{ij}$ = 推定された分散共分散 $SRMR = \sqrt{\frac{2}{p(p+1)} \sum_{i=1}^p \sum_{j=1}^i (s_{ij} - c_{ij})^2 / s_i s_j}$ $s_i, s_j$ : 分散

以上